

第7回

ひろしま災害後のこころの支援勉強会 公開セミナー

繰り返される災害によって 何が起きているのか ～ 支援者に必要な姿勢や視点とは～

日時

2021年5月30日(日)

時間

14:00-16:00

開催方法

Zoom (オンライン) による開催

対象者

教育関係者、医療関係者、保健師、支援員、大学院生など、
人を支援する活動をされている方（守秘義務を遵守できる方）

参加費
無料

新型コロナウイルス感染収束の見通しが見えない状況の中、例年よりも非常に早い梅雨入りとなり、豪雨災害のこともあり、いつもと違うこの時期を様々な思いで過ごされていることと思います。

新型コロナウイルス感染症は予防策を講じていても一向に収まる気配はなく、大人たちは疲労感や無力感を繰り返し体験し、何を軸にして考え行動してよいのか分からなくなっています。

今回は、このような状況の中で、私たち自身が今体験していることは、どのようなことなのか、その中でやっていることは何なのか、この状況の中だからこそ、我々は、何を考えていくことが必要なのか、について提案する、という企画を考えました。

皆様とつながり、地に足がついた支援について考える場になればと思います。
ぜひ、ご参加ください。

主催 ひろしま災害後のこころの支援勉強会

申し込み希望の方は ①氏名②所属③職種
④住所⑤連絡先を明記し、メールまたはFAX
でお申込みください（5月27日木曜締切り）

〒731-0103

広島市安佐南区緑井1丁目27-4-104 メイプル内
ひろしま災害後のこころの支援勉強会 事務局

E-mail h.saigaisien@gmail.com

F A X 082-876-4332

【HP】 <http://shisyunkisympo-h.sakura.ne.jp/studygroup.html>

第7回公開セミナー

内容

- ・「繰り返し起こる災害によって私たちに起きていることとは」
井上真一（瀬野川病院 精神科医） 本重朱美 井上真実
- ・「子どもたちが体験していること、出しているサインとは ～発達の視点を踏まえて～」
湊崎和範（広島西医療センター 小児科医） 岡田緑 大原一祐
- ・「子どもたちの安全基地（こころのよりどころ）をつくるには」
杉原太郎（杉原心理相談室 臨床心理士） 出先早紀 岡崎彩
- ・「支援者のこころの健康について ～人と人とのかかわりから～」
岡田幸彦（トボスの森代表 臨床心理士） 宮川悦子 久保康浩
- ・講師による意見交換・まとめ
司会 橋本智恵美（杉原心理相談室代表 臨床心理士）

これまでの活動

●公開セミナー

第1回 2018年7月28日

内容:「災害直後の心理的反応」「基本的な関わる姿勢」「学校再開に向けて」
「発達障害の視点」

第2回 2018年10月17日

内容:「災害から3か月後の心身の状態について」
「支援者が機能するためには—支援者のメンタルヘルスを通じて」 他

第3回 2019年5月18日

内容:「西日本豪雨災害から1年を向かえるにあたって～支援者に必要な姿勢や視点とは～」

第4回 2019年12月21日

内容:「繰り返される自然災害による、こころ・からだへの影響」

第5回 2020年5月24日

内容:「新型コロナウイルス拡大によるこころの影響とその対応 ～学校再開にむけて～」

第6回 2020年8月29日

内容:「新型コロナウイルスによって今、何が起きているのか ～支援者として考えていきたいこと～」

* ホームページに資料を公開しております

資料の内容について詳しいことをご知りたい場合は、事務局までご連絡下さい
ホームページはこちら➡ <http://shisyunkisympo-h.sakura.ne.jp/sympo9.html>

●講師派遣 支援者向けの講師派遣などの活動も行っています

①2018年12月25日 場所:坂町(教職員対象)

②2019年1月31日 場所:福山市(保健師、保育士、養護教諭等行政機関対象)

③2019年6月13日 場所:安芸郡(教育委員会対象) 内容:「災害から1年を迎えるにあたっての不安への対処」

④2019年7月30日 場所:竹原市(自殺対策ネットワーク会議委員対象)

【ひろしま災害後のこころの支援勉強会公開セミナー実行委員会】

実行委員長:橋本智恵美

実行委員:井上真一 井上房美 井上真実 大原一祐 岡崎彩 岡田緑 岡田幸彦 久保康浩 五明舞子
杉原太郎 出先早紀 湊崎和範 宮川悦子 本重朱美

